

ロクマル[®]マット

このたびは、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本紙をよくお読みの上、現場の状況に合わせて正しく施工してください。



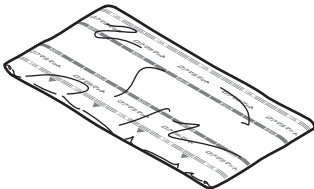
本製品のみでは、認定工法になりません。

必ず別売のロクマル（耐火ブロック）と組み合わせてご使用ください。

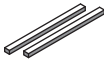
構成材料

品番	ロクマルマット			隙間用スティック (本)	結束バンド (本)	取扱説明書 (枚)
	サイズ	数量 (枚)				
MT-S	S	300×300	1	2	2	1
MT-M	M	450×300	1	2	2	1
MT-L	L	600×300	1	4	2	1

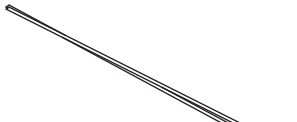
※本製品には、工法表示ラベルは、同梱されておりません。
※隙間用スティックは、稀にフィルム面にしわや剥がれ、切断面に小さな白い塊や穴があることがありますが、品質に問題はありせん。そのままご使用ください。



ロクマルマット



隙間用スティック
(160×10×7)



結束バンド
(φ0.8×700mm)
[全品番共通]



取扱説明書
(本紙)

施工例

国土交通大臣認定番号		
PS060WL-0756	PS060FL-0772	
壁工法	床工法（鋼製スリーブあり）	床工法（鋼製スリーブなし）

※専用の鋼製スリーブ（AS-13020等）をご使用ください。

施工する前に



本製品を施工する前に別途キット品の取扱説明書や施工要領書、認定書等をよくお読みいただき、開口部の確認や支持板の設置などの下準備をいたうえて施工してください。



ロクマルマットは、連結して使用できません。
1箇所（1つの配管の束）に対して、1枚のロクマルマットで施工してください。

施工手順

図は壁工法の例ですが、床工法も同様です。

1

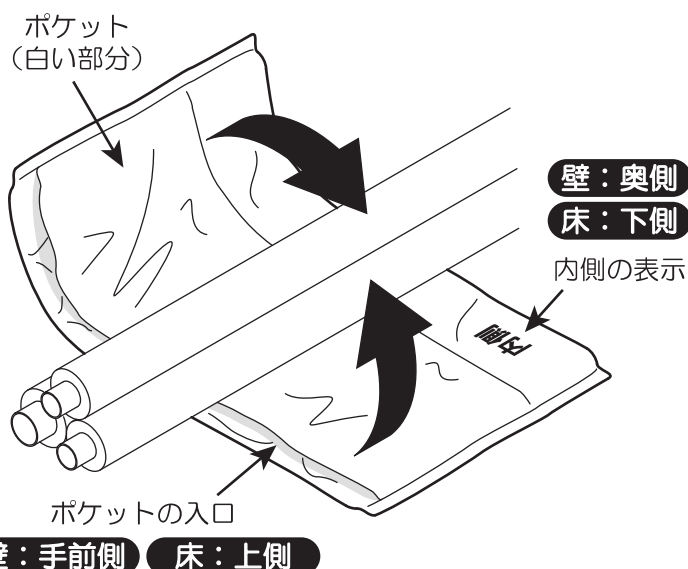
ロクマルマットの内側（ポケット側）を貫通物に当てるようにして、ポケットの口を手前（床の場合は上側）に向けて、ロクマルマットが重なるように貫通物に巻き付けます。



ケーブルラックの子桁がある場合は、ロクマルマットが子桁の上に来るように巻き付けてください。

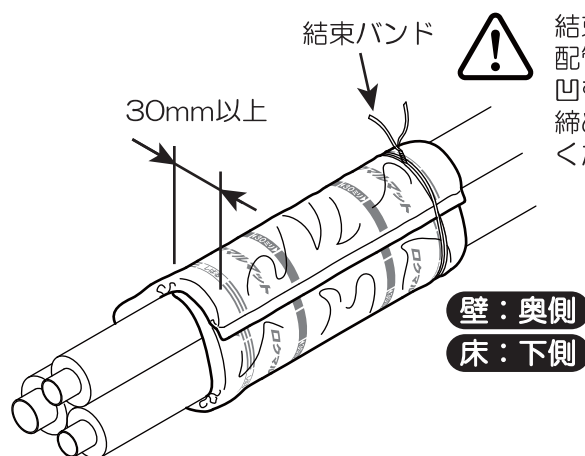


ケーブルラックの親桁、鋼材、貫通物の支持金具等のケーブル・配管以外のものをケーブルや配管と一緒に巻き付けしないでください。

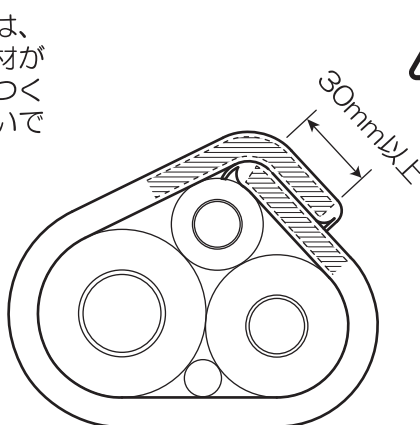


2

ロクマルマット表面の「30ミリ」表示（右上図参照）を目安に、巻き終り部分のかぶり代が30mm以上になるように重ねて、奥側（床の場合は、下側）の「しぼる」表示の位置（右上図参照）を目安に結束バンドで縛ります。
結束バンドは、容易に外れないよう、数回ひねって軽く締め込みます。



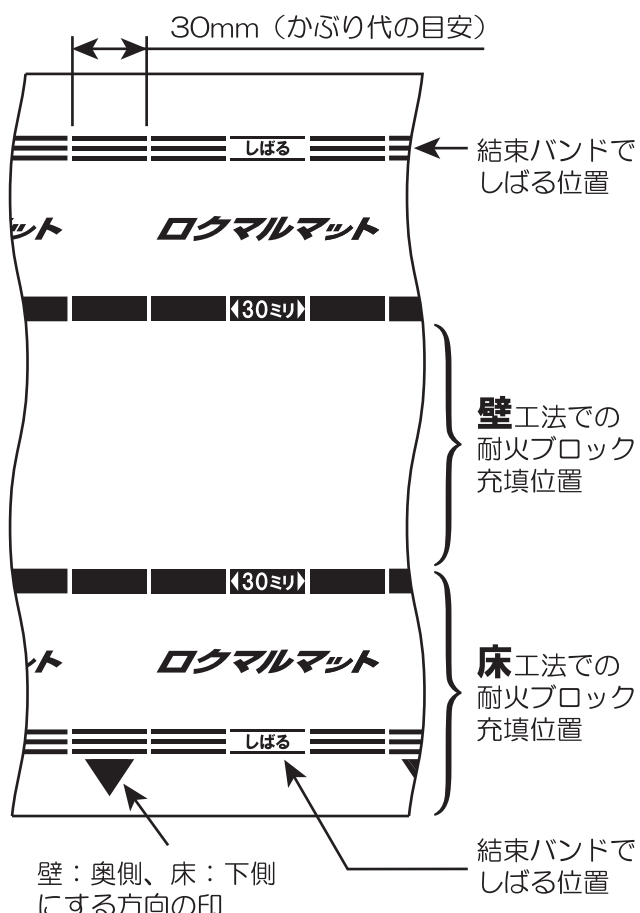
結束バンドは、配管の保温材が凹むほどきつく締め込まないでください。



かぶり代は、ロクマルマットの厚みがある部分を重ねた寸法としてください。
（ヒートシール部分やダブつき部分の長さは、かぶり代に数えないでください。）

ロクマルマット表面の印刷の意味

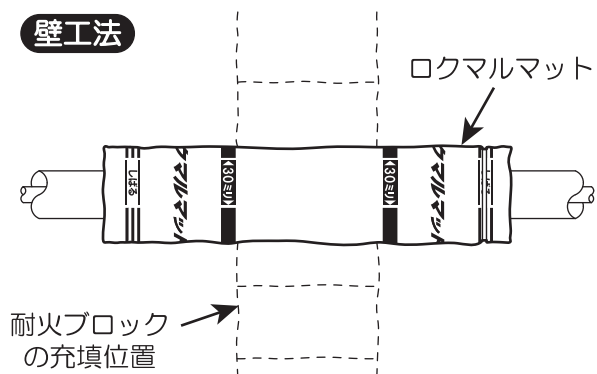
施工時における向き、結束バンドの位置、耐火ブロックとの位置関係に注意してください。



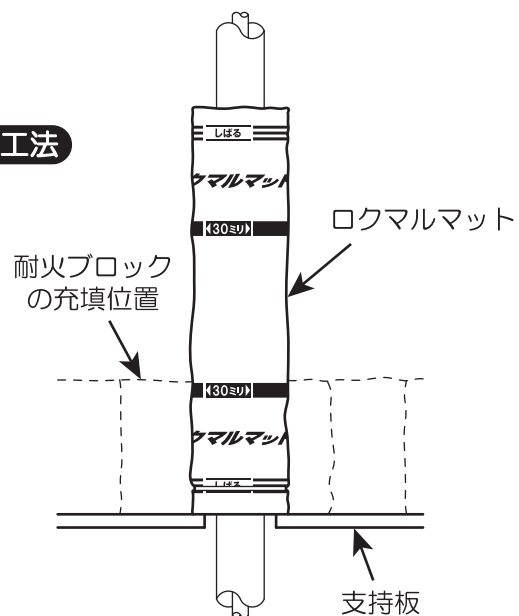
3

ロクマルマットの表面の印刷を目安にして、ロクマルマットを耐火ブロックの充填位置に合わせます。

壁工法



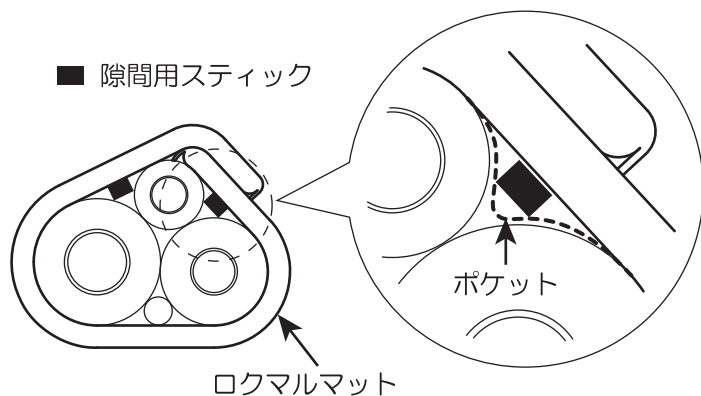
床工法



4

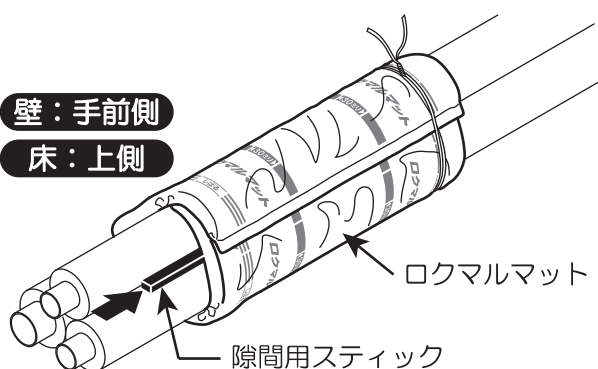
配管の凹凸部分の隙間には、隙間用スティックをロクマルマット内側のポケットに入れながら奥まで差し込みます。隙間が大きな場合は、複数本差し込みます。

■ 隙間用スティック

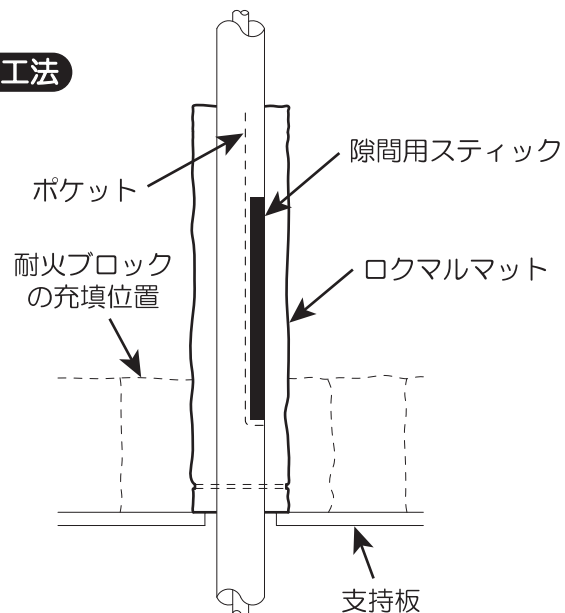


壁：手前側

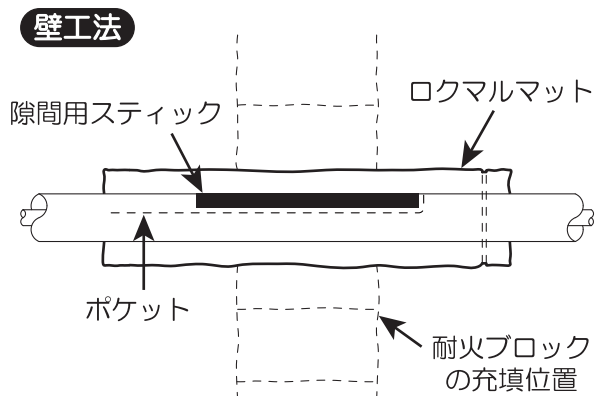
床：上側



床工法



壁工法



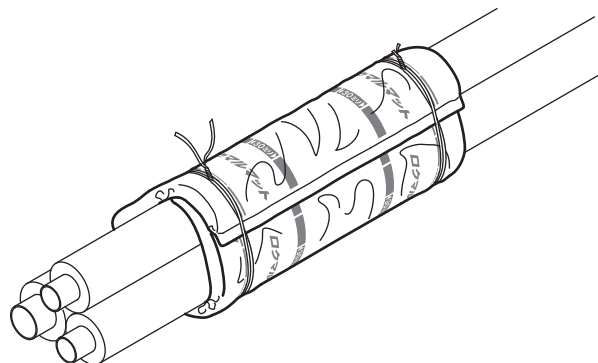
5

ロクマルマットの手前側を奥側同様に結束バンドで縛ります。結束バンドの端は、折りたたむか、適宜不要部分を切断してください。

6

最後にロクマルマットの状態と結束バンドにゆるみが無いことを確認します。

この後、ロクマルマット周辺に耐火ブロックを充填します。施工要領の詳細は、キット品付属の取扱説明書又は施工要領書等を参照してください。



適用ケーブル・配管

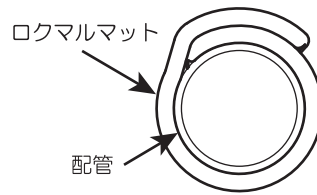
下記の認定番号の工法において、ロクマルマットを適用できる貫通物の一覧です。

種類	国土交通大臣認定番号
壁工法	PS060WL-0756
床工法	PS060FL-0772

※上記認定工法では、耐火ブロックのみや、ロクマルシートを使うことで適用できるケーブル・配管もあります。詳細は、認定書等をご確認ください。

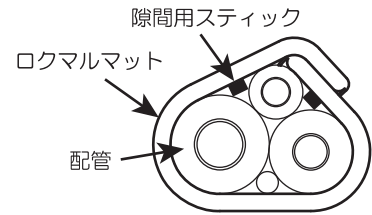


ロクマルマットの巻付け条件



単管（単管処理）

ロクマルマット1枚を配管1本毎に巻き付ける必要があります。



複数管（複数管一括処理）

ロクマルマット1枚で、複数の配管に対して一括で巻き付け可能です。ケーブルも混在できます。

ケーブル・電線管

種類	巻付け条件 ⚠	最大サイズ (mm)	種類	巻付け条件 ⚠	最大サイズ (mm)
ケーブル (配管に付随又は隣接して敷設されたもの)	複数管	導体サイズ 325mm ²	波付硬質合成樹脂管 [JIS C 3653 付属書1 (FEP)]	複数管	φ67 [呼び径50]
合成樹脂製可とう電線管 (CD管、PF管) [JIS C 8411]	複数管	φ64.5 [呼び径 54]	硬質塩化ビニル電線管 (VE) [JIS C 8430]	単管	φ114 [呼び径100]
				複数管	φ26 [呼び径22]

空調衛生配管

種類	巻付け条件 ⚠	最大サイズ (mm)	保温材※ 最大厚さ (mm)	種類	巻付け条件 ⚠	最大サイズ (mm)	保温材※ 最大厚さ (mm)
銅管 [JIS H 3300、3320]	複数管	φ54	38 (合成ゴム系に限る)	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 [JIS K 9798]	単管	φ114 (呼び径100)	—
		φ44.5	20	被覆付可とう塩化ビニル管 (断熱ドレンホース)	複数管	φ37 [呼び径25]	—
アルミニウム管 [JIS H 4080]	複数管	φ38.1	20	管の構成 外層・内層：ポリ塩化ビニル樹脂 断熱層：ポリエチレンフォーム	複数管	φ22 [呼び径16]	—
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP、HVP、HT) [JIS K 6741、6742、6776]	単管	φ114 (呼び径100)	なし	可とうポリエチレン管 (ドレンホース)	複数管	φ48.6	38 (合成ゴム系に限る)
	複数管	φ76 (呼び径65)	20	鋼管 [JIS G 3442、3452、3454、3455、3456、3458、3460]	複数管	φ42.7	20
		φ32 (呼び径25)	6	ステンレス鋼管 [JIS G 3447、3448、3459]	複数管	φ50.8	38 (合成ゴム系に限る)
結露防止層付 硬質塩化ビニル管	単管	φ76 [呼び径50]	—			φ42.7	20
管の構成 外層：塩化ビニルスキン層 中間層：塩化ビニル発泡層 内層：硬質塩化ビニル層	複数管	φ38 [呼び径25]	—				

※保温材の種類

	厚さ (mm)
発泡ポリエチレン系、発泡架橋ポリエチレン系、発泡ポリウレタン系、発泡ポリスチレン系、発泡ポリプロピレン系、発泡エチレンプロピレン系、発泡フェノール系、発泡シリコン系、発泡難燃ポリオレフィン系(酸素指数28以上)、グラスウール(JIS A 9504)、ロックウール(JIS A 9504)	20以下 又は 6以下
発泡合成ゴム系(ニトリル、ブチルゴム系)	38以下

ケーブル防災設備協議会会員：古河電気工業株式会社

工法表示ラベルの発行に関しては、古河電気工業株式会社の委託を受けております。

技術事項のお問い合わせは

株式会社古河テクノマテリアル 防災事業部

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5-1-8

TEL (0463) 24-9341 FAX (0463) 24-9346

ホームページアドレス <http://www.furukawa-ftm.com/bousai/>